



ごあいさつ



静岡県立静岡がんセンター 副院長
寺島 雅典

連日の厳しい暑さが続いておりますが、皆様におかれましては
お変わりなくお過ごしのことと存じます。私は、副院長の寺島雅
典と申します。臨床では胃外科を、副院長としましては地域医療
連携室、診療情報管理室などを担当させて頂いております。

地域の医療機関の皆様におかれましては、日頃から地域連携
にご協力を賜り誠にありがとうございます。改めまして御礼申
し上げます。お陰様を持ちまして、当院も開院以来23年を経過
し、地域に根ざしたがん専門病院として着実に発展を続けて参
りました。

しかしながら、昨今の物価上昇に伴う診療材料の高騰、給料
のベースアップなどに伴い、他の公立病院と同様に経営が危機
的状况を迎えております。次年度の診療報酬改定で、大幅なプ
ラス改定が望まれるところではありますが、我々特定機能病院

に対してもなかなか厳しいというお話しが伝わっております。今後も診療を継続していくためには、病
院独自の自助努力も必要とされます。

当院におきましても経営改善委員会を設立し、働き方改革に伴う時間外勤務の削減、病床稼働率の向上、
手術件数の確保、診療材料の見直し、DPCコーディングの見直しなどに取り組んで参りました。そういつ
た取り組みを進める中で、最も重要な課題は新患者さんの確保である事が判明して参りました。当院の
新患者数はコロナのパンデミック前までは31人／日程度で推移しておりましたが、コロナ以降は
27-28人／日と大幅に減少しております。この状況が継続しますと、持続可能な病院の運営自体が困難と
なって参ります。そこで、地域の医療機関の皆様にも少しでも当院に患者さんをご紹介頂けますように、初
診待ち期間の短縮や、幅広い患者さんの受け入れに取り組んでおります。これまで、少し躊躇われていた
ような患者さんでも、まずは一報入れて頂き当院での加療の機会をご検討頂ければと存じます。病院一丸
となって地域連携に取り組んで行きたいと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



もくじ CONTENTS

ごあいさつ	P1
特集：ロボット手術	P2
診療科紹介(胃外科)	P2
交流会開催報告	P3
地域医療連携室よりお知らせ	P4
編集後記	P4



第2回 ロボット支援手術～胃外科～

静岡がんセンターでは、ロボット支援手術に代表される低侵襲手術治療を積極的に行っています。

2025年現在、ロボット支援手術を行う診療科は、大腸外科、胃外科、泌尿器科、呼吸器外科、婦人科などの8診療科となっています。

今回の機関誌やまびこでは、胃外科におけるロボット手術を特集します。

胃外科におけるロボット手術

胃外科部長 坂東 悦郎

近年の胃がん治療は急激に発展しており、専門的かつ高度な知識・技術が要求されています。これは手術治療を担う我々外科のみならず、抗がん剤治療を行う内科、内視鏡治療を行う内視鏡科、顕微鏡でがんの性状・生物学的特性(遺伝子診断を含む)を診断・判定する病理細胞診断科、がん終末期の症状を和らげる緩和医療科、など複数にまたがる専門診療科が関与した診断や治療を含みます。

日本胃癌学会は、今後の胃がん治療の集約化(一定以上の診療水準を確保する目的)のため2023年より施設認定制度を設けました。当センターは静岡県東部で唯一「認定施設A」に認定されております。

特に当科が得意とするロボット手術に関して：以前は進行度の低い胃がんに対して適用してきましたが、現在ではステージ3と診断される高度進行がんにも適用しています。開腹時代や腹腔鏡時代に経験したお腹の中の感染合併症(膿み、主に臍臓の炎症によって起きます)が著明に減少しており、自信をもってロボット手術を推奨します。

手術担当スタッフは全員内視鏡外科学会技術認定取得医(合格率20%程度の大変厳しい資格)であり、ロボット手術を統率する部長の坂東は500例以上のロボット手術を経験しており安心してお任せください。

緊急時はいつでも電話対応可能いたします。また紹介先が外科か内科かどうか迷った場合でも外科にファーストコールいただければ対応いたしますので遠慮なく紹介いただければ幸いです。



坂東 部長

【ロボット支援下手術の様子】



2025年度 静岡県がん医療地域連携交流会報告

2025年8月21日（木）に沼津市のプラサヴェルデにて、静岡県がん医療地域連携交流会を開催いたしました。医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション協議会をはじめ、行政・病院・診療所・訪問看護ST・薬局など、計96施設、183名の医療関係者の皆さまにご参加いただきました。

当センターからの参加者を含めると計298名と盛大で有意義な交流会を開催することができました。



プログラム

講演 19:00-19:45

演題1 静岡がんセンターにおける婦人科ロボット手術の現状
婦人科 部長 武隈 宗孝

演題2 病病連携による根治的および緩和的放射線治療の推進
放射線治療科 部長 原田 英幸

演題3 さらに医療連携を目指して
～ともに支える地域のがん医療～
地域医療連携室 副室長 松見 しのぶ

懇親会 19:45-21:00



第1部では、医師・看護師ら3名による講演を行いました。

第2部の懇親会では、日頃からお世話になっている地域医療機関の皆さまと直接お会いし、交流させていただくとともに、さまざまなお意見を伺うことができました。

対面にて感謝の気持ちをお伝えできたことは、私たち職員にとっても大変貴重で温かいひとときとなりました。暑い中、またご多忙中にもかかわらずご参加いただき、誠にありがとうございました。

来年度の交流会でも、お会いできるのを楽しみにしております。



開会挨拶 上坂総長



懇親会挨拶 小野病院長



乾杯 安井副院長



閉会挨拶 寺島副院長

地域医療連携室よりお知らせ

NEWS

研修情報

1) 2025年度臨床腫瘍学コース

臨床腫瘍学コース



毎月、臨床腫瘍学コースを開催し地域の医療従事者の方々にも公開しています。

開催時間：18：00～19：30、会場：静岡がんセンター 管理棟4階 研修室1

◇詳細は静岡がんセンター総務課企画人材班 TEL：055-989-5222(代)までお問合せください。

日 時	テーマ	講師(敬称略)
11月28日(金)	がん患者の心のケア(仮)	腫瘍精神科 部長 新里 馨
12月26日(金)	患者の意思決定支援に必要なコミュニケーションについて(仮)	緩和医療科 主幹 榎場 美穂
2026年 1月23日(金)	がん患者の口腔ケア(仮)	歯科口腔外科 部長代理 岡 久美子

2) 2025年度臨床研究研修会

静岡 臨床研究研修会



臨床研究に携わる医師・歯科医師、研究支援者を対象とした研修会を開催しています。

◇詳細は臨床研究支援センター臨床研究管理・調整室 TEL：055-989-5222(代)までお問い合わせください。

日 時	テーマ	講師(敬称略)
11月7日(金) 17：00～18：30	臨床研究のデザインと統計手法 (発展・最新編)(仮)	静岡社会健康医学大学院大学 医療統計学領域長社会健康医学研究 副センター長 教授 山本 精一郎
11月14日(金) 16：00～17：30	デジタルヘルスケア技術と 臨床研究への実装(仮)	キュアコード株式会社 営業統括 荒子 貴明
11月21日(金) 16：00～17：30	健康格差と医療(仮)	浜松医科大学 健康社会医学講座 教授 尾島 俊之

静岡がんセンターでは次の公式・公認アカウントで情報発信をしております。
最新情報はSNSで！公式アカウントをぜひフォローしてください。

静岡がんセンター
公式・公認SNS
フォロワー募集中！



▲Youtube



▲Instagram



▲Instagram(看護部)

編集 後記

ロボット支援下手術特集2回目は、死亡率は大幅に減少したものの、依然として罹患数は多く、2020年の新規罹患患者数は109,679人で第3位である胃がん治療を担当する胃外科のご紹介です。昨今の物価高騰の影響もあり、医療機関の経営は厳しさを増していますが、医療の質を落とすことなく、持続可能な形でロボット支援下手術を続けています。



今回のやまびこでも、当院のロボット支援下手術をご紹介します。皆様からご紹介いただく患者さんへの当院の治療についてご理解を深めていただく機会となると幸いです。

発行 静岡県立静岡がんセンター 患者家族支援センター 地域医療連携室
〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪 1007 TEL：055-989-5222(代)
発行責任者 地域医療連携室 副室長 松見 のぶ